

新連載
第1回

20%減量の達成に向けて

～ 阿久比町家庭系ごみ減量化計画実施中 ～

町では、平成30年度と令和元年度の2年間で、家庭系ごみを20%減量することを目標としています。2年間の取り組みで20%の減量が達成できなかった場合、令和2年度以降にごみの有料化を検討することになっています。

今回から、皆さんが日々の生活で実践できるごみを減らす方法など、ごみ減量化への取り組みについての連載を始めます。連載記事を参考にして、目標の達成のためにごみの減量化をお願いします。

今回のキーワード

“Reduce” (リデュース)

リデュースは3R[ごみを減量化する3つのキーワードである“Reduce”(リデュース)、“Reuse”(リユース)、“Recycle”(リサイクル)の頭文字を取ったもの]のひとつで、できるだけ無駄なごみを減らす取り組みのことを指します。リデュースには以下のような取り組みが上げられます。



マイバッグを持参すれば、レジ袋がごみになりません。

【買い物はマイバッグで】



食材は計画的に食べ切れる分量を考えて買い、残さず食べてください。宴会などでは、3010運動を実践してください。3010運動とは、宴会で乾杯後30分とお開き10分前は、自席で料理を楽しむ、食品ロスの削減を図る運動です。一人一人が「もったいない」を心掛けて楽しい宴会にしてください。

【食べる分だけ買う】



買い物をしたとき、必要以上の包装は断ってください。弁当を買ったときの割り箸、デザートを買ったときのスプーンなどはもらわず、家にあるものを使うように心掛けてください。

【過剰包装はしない】

【マイ箸・マイボトルを使用】



外で弁当を食べるときなどは割り箸ではなく自分の箸(マイ箸)で、水分補給はペットボトルではなく水筒などマイボトルを使用する習慣を付けてください。

【生ごみはしっかりと水を切るか堆肥化を】



生ごみにはたくさんの水分が含まれているため、しっかりと水を切ってごみの量を減らしてください。また、町が行っている生ごみ堆肥化装置購入費の補助を利用して生ごみ処理機を購入し、生ごみを有効利用してください。

【刈った草はしばらく置いて水分を抜く】



草にも水分が含まれています。刈った草は、しばらく置いて乾燥させてから捨ててください。

次回は7月1日号です。“Reuse”(リユース)について取り上げます。

5月21日に、南部小学校の4年生が社会科の授業で、ごみの減量化について勉強しました。



▲ クイズに答えて学ぶ児童



▲ リサイクルによって作られた原料に興味を持つ児童

問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111(内1212)